

平成 27 年度 鑑石園 ヘルパーステーション 事業報告書

1. 事業運営の概況

平成 27 年度、ヘルパーステーションにおいては、4 月、10 月の人事異動により常勤サービス提供責任者の交代があった。年度を通して非常勤ヘルパー 4 名から 5 名の職員配置で事業を実施した。3 月をもって 1 名の非常勤ヘルパーが退職した。

利用者様の入院や施設入所等により、下半期の派遣件数が低迷したことから、前年度を下回る利用率となった。

2. 事業計画実施状況

(1) 業務内容の充実

利用者数拡大を図る為に、市内の居宅介護支援事業所への年始挨拶や、関連事業所に毎月の利用状況報告などのために訪問した。ケアマネジャーとの情報交換を行い、信頼を得ることで継続的な利用の確保と、新規利用者獲得の為に働きかけを行った。

(2) 職員の資質向上

① 鑑石園職員信条の唱和

月 2 回行うケース検討会議の場において、鑑石園職員信条を唱和し、職員としての自覚を持ち、業務に臨んだ。

② 外部研修及び内部研修

富士市が主催する研修に参加し、職員の資質向上に努めた。また外部研修に参加した職員が講師となり、ケース検討会議の場で内部研修を行った。職務上必要と思われる内容については、ヘルパーステーション独自の内部研修として勉強を行い、職員の資質向上に役立てた。

・ 外部研修

月	研修名	主催
2 月	サービス研究集会	富士市介護保険事業者連絡協議会
3 月	総合事業説明会	富士市高齢者支援課

・ 内部研修

月	研修内容
4月	緊急時の対応
5月	プライバシー保護
6月	接遇
7月	熱中症
8月	食事療法
9月	自己評価
10月	訪問介護におけるサービス行為の確認、感染症予防
11月	高齢者の病気
12月	吐物処理方法
1月	支援記録の書き方
2月	研修報告(サービス研究集会)
3月	総合事業について

(3) サービスの質の向上への取り組み

① ケース検討会議

月 2 回のミーティングで、個々の利用者について情報交換や、伝達事項を周知した。ケース検討するなどして、一人ひとりの利用者に対して理解を深め、ヘルパー全員が統一した援助を行えるよう努めた。

② サービス担当者会議への出席

必要に応じて随時開かれるサービス担当者会議に積極的に出席し、ケアマネジャー及び他関連事業所との連携を強め、利用者へのサービスの質の向上を図った。

(4) 職員の健康管理

事業所においては、ヘルパー全員を対象に毎月の細菌検査と年に 1 度の健康診断、冬季にはインフルエンザの予防接種を実施した。

個々の職員による感染症予防対策として、手洗い、うがい、マスクの着用等を励行し、健康管理に努めた。